

第1章 北広島市のあらまし

1 市勢の概要

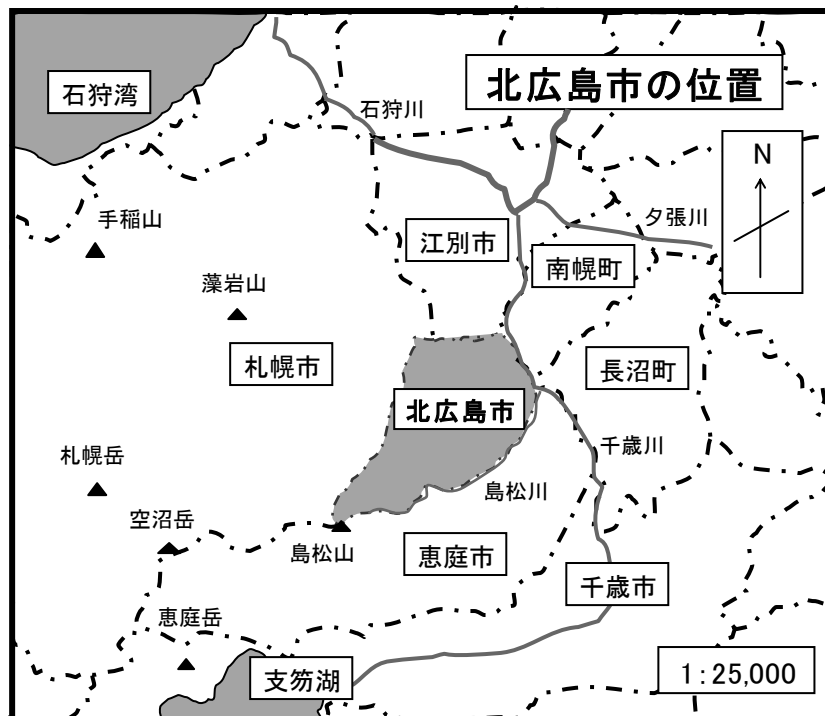
1)位置及び地勢

北広島市は、石狩平野の南部に位置する周囲約 52.5km、総面積 118.54km²の都市で北西側は札幌市、北は江別市、東は千歳川をはさんで長沼町と南幌町に、南は島松川を境界として恵庭市に接しています。

地形は、南西部にある島松山（標高 492.9m）から、北東方面に標高 100m前後の波状台地が広がり、波状台地からの幾筋もの水の流れが島松川や輪厚川などの河川となって、千歳川などを経て石狩川に合流し、日本海へとそそいでいます。

地質は、大部分が洪積層からなっており、南西部の丘陵地帯では畑作や酪農、北東部の低地では水田を中心として活用されています。

山林は約 35.19km²で、全市面積の 29.7%を占めており、南西部の島松川、仁井別川沿い及び野幌森林から中央部に広がる国有林が主なものです。



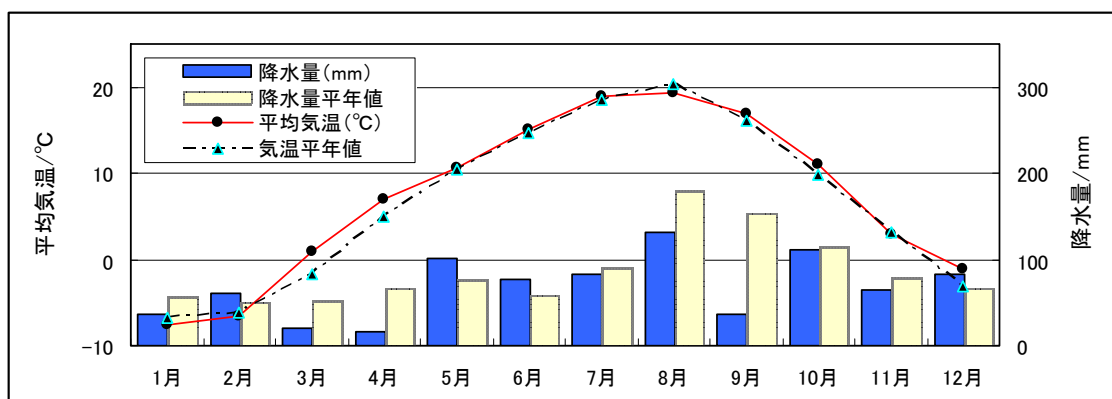
2) 気象

亜寒帯湿潤気候の裏日本型（日本海側）に属していますが、西部から北東方向にのびる波状台地を境として、局地的な気候変化がみられます。

冬季は冬型の気圧配置にともなう北西の季節風が卓越して雪が降りやすく、夏季は小笠原高気圧の影響でおおむね南東風が吹き日中晴れる日も多くなりますが、太平洋沿岸から侵入してくる海霧の影響を受けて朝晩に曇ることがあります。また、オホーツク海高気圧が優勢な年は、冷涼な北東気流の吹き出しで気温があまり上がらず冷夏となることがあります。

平成 20(2008)年の気象統計では、気温は 1～2 月は低く経過しましたが、3～4 月は平年より約 2～3℃高くなりました。その後 7 月まではほぼ平年並みとなりましたが、8 月は比較的に低めで経過しました。9 月以降は移動性高気圧に覆われる日が多くなり、その高めの状態は秋いっぱい続いて 12 月も平年より 2℃高く経過しました。降水量をみますと、1 月は少雪でしたが 2 月は下旬に日降水量 40 cm の日があつて、最深積雪も 102 cm を記録しました。しかし、3・4 月は晴れる日が多く少雨傾向となりました。5・6 月は発達した低気圧の通過によって、日降水量が 40～60mm を記録した日があります。また、今夏は本道への台風の接近・上陸が無かつたため、9 月は観測史上最小の 37mm を記録しました。全般的に少雨傾向であつたといえます。

なお、年平均気温は 7.3℃、最高気温は 28.7℃（8 月）最低気温は -22.7℃（2 月）であり、年間降水量は 822mm、最深積雪は 102cm（2 月）となっています。



資料：札幌管区气象台（地域気象観測所（アメダス）：恵庭市下島松 829 番地）

図 1-1 平成 20 年の平均気温と降水量

3) 交通

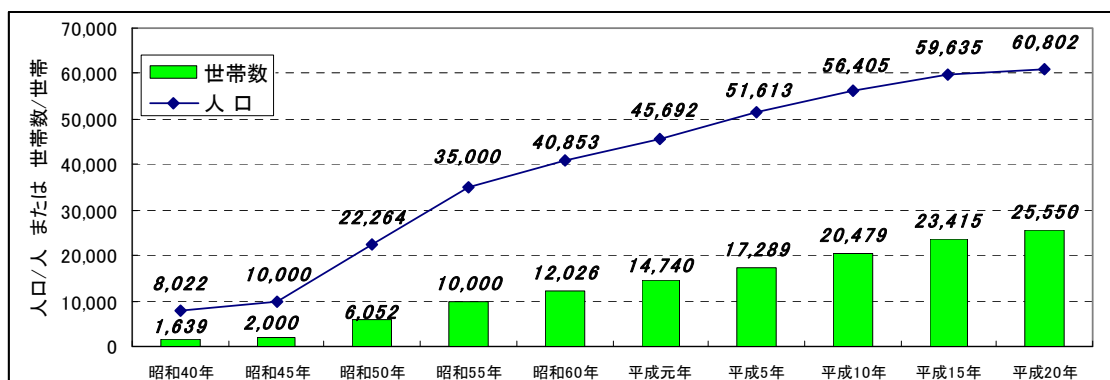
北広島市は JR 千歳線のほか、市の西部を道央自動車道と国道 36 号、北部を国道 274 号が走り、また東部を主要道道の江別恵庭線（道道 46 号線）が通っていて、札幌圏と北海道中部及び東部を結ぶ交通の要所となっています。

そのほかに、市の東部地区と西部地区（大曲方面）を結ぶ道道栗山北広島線（道道 1080 号線）は、市民の主要な生活ラインとなっています。

2 人口・産業

1)人口

住民基本台帳によると、平成 20 年度末における北広島市の人口は、60,802 人で、その推移を見ると、道営北広島団地の開発が始まった昭和 45（1970）年以降、増加しており、その後も宅地供給が進むにつれて漸次増加し、平成 4（1992）年 7 月には 5 万人、平成 16（2004）年 7 月には 6 万人を突破し、現在に至っています。



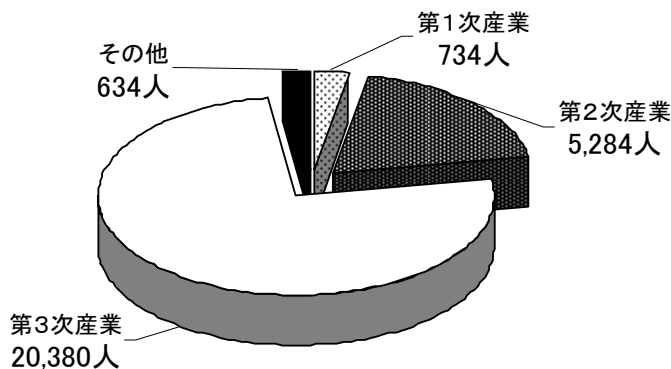
資料：住民基本台帳（各年度末：3/31 現在）

図 1-2 人口・世帯数の推移

2)産業

北広島市は、札幌市を中心とした経済地域にあり、卸・小売業・サービス業に代表される第 3 次産業は就業人口も増加しており順調に発展を続けていますが、食料品製造業・金属製造業などの第 2 次産業の就業人口は減少気味に推移しています。

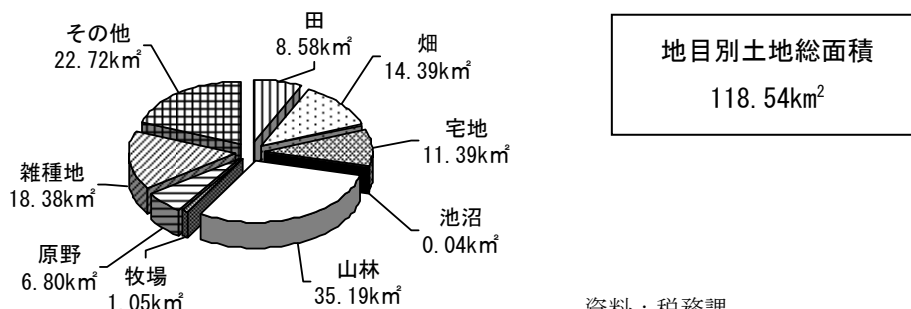
一方、第 1 次産業においても、農業人口は減少傾向にあります。札幌市などの大消費地に隣接していることから、都市近郊型農業を中心とした収益性の高い農業経営の展開が望まれています。



資料：政策調整課
「平成 17 年度国勢調査」

図 1-3 産業別人口

3 土地利用状況



資料：税務課

「平成 21 年 1 月 1 日現在固定資産概要調書」

図 1-4 土地利用状況

4 都市環境施設等の現状

表 1-1 市内の道路整備状況

平成 21 年 3 月 31 日現在

総実延長	市道の延長	国道の延長	道道の延長	道路公団の延長
461.2km	408.4km	17.6km	26.6km	8.6km

(注) 独立専用自転車歩行者専用道は含まない

資料：土木事務所

表 1-2 市道の整備状況

平成 21 年 3 月 31 日現在

実延長	舗装状況				改良状況			
	舗装済	%	未舗装	%	改良済	%	未改良	%
408.4km	321.7km	78.8	86.7km	21.2	360.5km	88.3	47.9km	11.7

資料：土木事務所

表 1-3 都市公園整備状況

平成 21 年 3 月 31 日現在

公園種別		内 容	公園数	面積 (ha)
都市基幹公園	総合公園	都市住民全般の休息、観賞、散歩、遊戯、運動等総合的な利用に供することを目的とする公園で都市規模に応じ1箇所当たり面積10～50haを標準として配置する。	1	47.80
住区基幹公園	街区公園	主として街区に居住する者の利用に供することを目的とする公園で、街区内に居住する者が容易に利用することができるように配置し、1箇所当たり面積0.25haを標準として配置する。	82	21.23
	近隣公園	主として近隣に居住する者の利用に供することを目的とする公園で、近隣に居住する者が容易に利用することができるように配置し、1箇所当たり面積2haを標準として配置する。	14	43.97
	地区公園	主として徒歩圏内に居住する者の利用に供することを目的とする公園で、徒歩圏域内に居住する者が容易に利用することができるように配置し、1箇所当たり面積4haを標準として配置する。	1	4.09

特殊公園	風致公園、動植物公園、歴史公園、墓園等特殊な公園でその目的に則し配置する。	1	9.97
都市林	主として動植物の生息地又は生育地である樹林地等の保護を目的とする都市公園であり、都市の良好な自然的環境を形成することを目的とする。	2	11.81
広場公園	主として商業・業務系の土地利用が行われる地域において都市の景観の向上、周辺施設利用者のための休息等の利用に供することを目的として配置する。	4	0.69
都市緑地	主として都市の自然的環境の保全ならびに改善、都市景観の向上を図るために設けられている緑地であり、1箇所当たり面積0.1ha以上を標準として配置する。ただし既成市街地等において良好な樹林地等がある場合あるいは植樹により都市に緑を増加又は回復させ都市環境の改善を図るために緑地を設ける場合にあってはその規模を0.05ha以上とする。	113	92.10
合 計		218	231.66

資料：都市整備課「公園台帳」

表 1-4 上水道の普及状況等

各年度末現在

項 目	給水区域内人口 (A)	給水人口 (B)	普及率% (B/A)	給水量 (m ³ /年)	最大給水量 (m ³ /日)
平成 16 年度	60,419	59,071	97.8	5,664,718	18,704
平成 17 年度	60,858	59,914	98.4	5,732,880	18,784
平成 18 年度	61,125	60,182	98.5	5,721,905	18,555
平成 19 年度	61,152	60,209	98.5	5,744,691	18,629
平成 20 年度	60,969	60,035	98.5	5,662,880	18,146

備考 給水区域内人口には住民登録外人口と江別市の一部区域人口を含む

資料：業務課

表 1-5 下水道の整備状況

各年度末現在

項 目	市街化区域 面積 (ha)	処理区域 面積 (ha)	行政人口 (A)	処理人口 (B)	普及率% (B/A)	管渠延長 (km)
平成 16 年度	1,594	1,390.3	60,274	57,441	95.3	521.1
平成 17 年度	1,659	1,390.6	60,698	58,015	95.4	522.1
平成 18 年度	1,659	1,402.4	61,072	58,248	95.4	522.8
平成 19 年度	1,659	1,407.6	60,987	58,197	95.4	525.0
平成 20 年度	1,659	1,448.2	60,802	58,295	95.9	526.3

資料：下水道課

表 1-6 下水処理施設の状況

平成 21 年 3 月 31 日現在

施設名	使用開始年月	処理人口	最大処理能力
下水処理センター (富ヶ岡 916-2)	昭和 47 年 2 月	58,295 人	26,833m ³ /日

資料：下水処理センター

表 1-7 し尿収集状況(北広島市分)

各年度末現在

項目	し尿		簡易水洗		浄化槽汚泥		合計	
	収集量 (kℓ)	割合 (%)	収集量 (kℓ)	割合 (%)	収集量 (kℓ)	割合 (%)	収集量 (kℓ)	割合 (%)
平成 16 年度	1,178	16	4,037	55	2,108	29	7,323	100
平成 17 年度	1,119	16	3,964	55	2,064	29	7,147	100
平成 18 年度	1,166	16	4,100	56	2,099	28	7,365	100
平成 19 年度	1,019	15	3,982	56	2,003	29	7,003	100
平成 20 年度	706	11	3,583	57	2,045	32	6,334	100

資料：道央地区環境衛生組合

表 1-8 し尿処理施設の状況

平成 21 年 3 月 31 日現在

施設名	使用開始年月日	処理能力	備考
道央地区環境衛生組合 (北の里 469)	昭和 40 年 12 月 (昭和 51 年 11 月増設)	55kℓ/日	酸化処理方式

構成団体：北広島市、長沼町、南幌町、由仁町

資料：道央地区環境衛生組合

表 1-9 廃棄物処理施設状況

平成 21 年 3 月 31 日現在

施設名	使用開始年月日	総面積	埋立面積	処理能力	備考
北広島クリーンセンター	昭和 54 年 5 月	199,447m ²	101,500 m ²	—	準好気性埋立地方式
破砕棟	昭和 55 年 4 月	—	—	75 t/5h	—
資源リサイクルセンター	平成 4 年 4 月	—	—	2.5 t/日	—

資料：北広島クリーンセンター

表 1-10 自動車保有台数

各年度末現在

項目	北 広 島 市		北 海 道	
	台数 (台)	前年比 (%)	台数 (台)	前年比 (%)
平成 16 年度	39,820	102.9	3,717,368	100.9
平成 17 年度	40,338	101.3	3,731,734	100.4
平成 18 年度	40,820	101.2	3,718,177	99.6
平成 19 年度	40,694	99.7	3,685,741	99.1
平成 20 年度	40,839	100.4	3,653,728	99.1

資料：政策調整課 北海道陸運協会「北海道自動車統計」

表 1-11 自動車交通量経年変化

単位：台/日

測定地点	国道 36 号 (大 曲)	国道 36 号 (輪 厚)	国道 274 号 (西の里)	道道江別恵庭線 (共 栄)
平成 16 年度	39,701	—	34,032	21,255
平成 17 年度	37,861	—	36,215	23,491
平成 18 年度	38,524	35,997	35,336	—
平成 19 年度	38,004	—	32,726	—
平成 20 年度	39,347	42,238	24,110	—

備考
 国道 36 号 (大曲)：大曲中学校 国道 36 号 (輪厚)：そば天国 松乃家前
 国道 274 号 (西の里)：ワンディ・スパ西の里店前 道道江別恵庭線 (中央)：はるやま北広島店前

資料：都市計画課 (北広島市道路交通量調査)